Course number	U-LAS60 10004 OJ17		
Course title (and course title in English)	統合型複合科目（統合群i） ：大学で学ぶ　YU04 Integrated Liberal Arts and Science with Small Group Seminars (Interdisciplinary Sciences i) :Introduction to University Study YU04	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Liberal Arts and Sciences Program-Specific Professor,KUSUMI TAKASHI Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Program-Specific Professor,USAMI BUNRI Part-time Lecturer,NUMATA HIDEHARU

Group	Interdisciplinary Sciences	Field(Classification)	Interdisciplinary Sciences

Language of instruction	Japanese	Old group		Number of credits	4

Number of weekly time blocks	2	Class style	Lecture + Seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2026・First semester

Days and periods	Mon.5・Wed.5	Target year	All students	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

教科書に書かれていることは常に正しいのか。論文で主張されている理論に弱点はないのか。専門家の見解は本当に妥当なのか。大学での学びでは，こうした問いが出発点となる。学術の世界では定説が覆され，複数の理論が対立し，新たな発見が従来の理解を書き換える。与えられた知識を獲得するだけでなく，自ら問題を発見し，既存の主張を吟味し，根拠を検証する。これが批判的思考であり，大学での学びに不可欠な姿勢である。

本統合型複合科目では，講義において，大学での学びの特徴や重要なスキル，それを支える批判的思考について学ぶ。そして，受講者は下記に紹介する4つの少人数演習のいずれかに参加することによって，講義に関連するテーマを，討論や実習などを通してより深める。さらに，4つの少人数演習の担当者が講義においても，各1回の話題提供を行うことによって，全ての受講生が4つの演習のエッセンスを理解できるようする。

具体的には，講義では，第一に，大学での学びの特徴（1回）を理解し，そのために必要なスキルとしてリテラシー（2回）と，批判的思考を身につけることの重要性（4回）や知識習得と論理的な考え方(7回)を説明し，基本的なスキルを身につける。第二に，質問や発表の仕方(3回)，思考モードのシフト(5回)，インターネットや生成AIを活用した文献検索の仕方(6回)，学術書や論文の読み方(8回)，レポートの書き方(10回)について，身につける。第三に，辞書を批判的に活用すること，科学報道を批判的に読むことについて学び（9回），文理を融合した思考法を身につける。

そして，上記の講義に関連したテーマについて，4つの少人数演習に分かれて，毎週並行して少人数演習に参加して，講義の内容をさらに深める。

11回，12回には，4つの異なる少人数演習の学生からなるグループに分かれて，合同演習を行う。講義に関連するテーマを自分たちで設定して，講義と演習で学んだことを踏まえて，議論を発展させる。13回，14回にはその成果を発表し，全体討論を実施して，まとめを行う。

○統合型複合科目分類　【文・理】

主たる課題について文系分野の要素が強く、副たる課題については理系分野の要素が強いと考えられるもの

Continue to 統合型複合科目（統合群i）：大学で学ぶ　YU04(2)↓↓↓

[Course objectives]

大学で学ぶための土台として，大学の学びの特徴と学問と研究活動の全体像を理解し，大学での学びにおいて重要な批判的な思考を身につけ，読解，質問，文献検索，研究，ライティング，発表など基本的スキルを着実に身につけることを目指す。

[Course schedule and contents)]

（この授業では、講義と少人数演習を併せて学びます。講義のみ、少人数演習のみの出席では授業の到達目標に達しません。なお、このシラバスでは共通の講義部分と、少人数演習・D班「文系・理系について考える」（担当：宇佐美・沼田）の授業計画と内容を記します）

◆講義　　月曜５限・（共北32）
第1回　イントロダクション：高校までの学びとの違いとは（楠見）
第2回　大学で学ぶとは：アカデミックリテラシーを身につけるには（楠見）
第3回　質問と発表のやり方について（佐々木）
第4回　批判的思考とは（楠見）
第5回　思考モードをシフトする：受動的課題解決から自発的課題発見へ　(藤田)
第6回　文献検索にインターネット・生成AIを活用するには：デジタル・メディアリテラシー（楠見）
第7回　知識の修得とその活用―考えるとはどういうこと？(奥村)
第8回　批判的に学術論文を読むには（楠見）
第9回　辞書は信頼できるか，科学報道は信用できるか(宇佐美・沼田)
第10回　批判的にレポートを書く・発表するには（楠見）
第11回　合同演習１（4つの演習の学生からなるグループが最終発表に向けて活動）（楠見）
第12回　　合同演習2（4つの演習の学生からなるグループが最終発表に向けて活動）（楠見）
第13回　4つの少人数演習の学生からなるグループが最終発表と討論1（楠見他）
第14回　4つの少人数演習の学生からなるグループが最終発表と討論2，まとめ（楠見他）
第15回　フィードバック（楠見）

Key Word: 批判的思考，アカデミックリテラシー，リサーチリテラシー

◆少人数演習
D班「文系・理系について考える」（担当：宇佐美・沼田）　水曜５限・（共西04）
　人文社会科学・自然科学とは何かを改めて考えるとともに，大学受験までの進路選択としての文系・理系との関係を見直す。そして，将来文系と理系の枠にとらわれずに活躍できる素養を養う。
[授業計画と内容]
第１回　自己紹介とともに文系あるいは理系に進んだ理由や経緯を話し，進路選択のあり方について議論する。
第２回　担当教員による文系・理系に関する動画を，履修者が事前に視聴した感想を話し，文系・理系について議論する。
第３回　附属図書館を見学し、図書の分類、学問の分類について学ぶ。
第４回　第３回で附属図書館を見学した報告と、事前に総合博物館見学した報告を行い、大学附属図書館の意義、大学附属博物館の意義について考える。
第５回　人文科学研究所分館（人文情報学創新センター）を訪問して、京都大学の歴史や大学附属研究所の意義について考える。
第６回　理系の研究室を見学し、大学における理系研究室とそこで研究する学生・教員の日常について知る。
第７回　人文科学研究所および理系研究室訪問の感想を話し，大学における文系・理系分野の人た

Continue to 統合型複合科目（統合群i） ：大学で学ぶ YU04(3)↓↓↓

ちの生活についての認識を深める。
第８回　文系（文献学）の考え方について、宇佐美が概説する。
第９回　理系（生物学）の考え方について、沼田が概説する。
第10回　文系・理系の両方を経験し学内で活躍するゲスト１を招き、文系・理系について考える。
第11回　文系・理系の両方を経験し学内で活躍するゲスト２を招き、文系・理系について考える。
第12～14回　これまでの履修内容と進路と自分が進む学問分野についての本を読んだ経験に基づいて，将来の進路についての考えを発表し，質疑応答を行う。
第15回　フィードバック

[Course requirements]

特になし。特別な予備知識は必要とせず，文系・理系を問わず全学部生向けに授業を行う。

[Evaluation methods and policy]

講義については，14回の授業での平常点（出席と参加，課題提出の状況など）50%とグループ活動と最終発表で50%で評価を行う。講義と少人数演習をあわせた授業全体の成績は，1：1の割合で，両担当教員が相談して評価する。少人数演習における各評価項目の割合の詳細は，初回の授業で説明する。フィードバック授業は評価の対象外である。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）
Lesley-JaneEales-Reynolds他 楠見孝, 田中優子訳 『大学生のためのクリティカルシンキング:学びの基礎から教える実践へ』（北大路書房）ISBN:978-4762830884
他は，授業中に紹介する.

[Study outside of class (preparation and review)]

教科書，授業資料の要点を予習・復習する。

[Other information (office hours, etc.)]

授業で学んだことを，大学での学び全体に活かして実践して，振り返ることを期待する。
　授業全体のオリエンテーションのための動画を公開するので，視聴しておくこと。詳細はKULASIS「全学共通科目」のお知らせを確認すること。

[Essential courses]